

メーデー 北陸支部

5 月 1 日、澄んだ青空に新緑が映えるいしかわ四高記念公園で「次代につなぐ平和の願い! みんなでつくろう支え合う安心社会と確かな未来を!」をスローガンに掲げ、第 96 回メーデー金沢中央大会が開催された。

会場には、40 を超える労働団体から約千人が参加した。開催にあたり、連合石川の福田佳央会長が「今年の春闘妥結における賃上げ平均額は、全国的な賃上げの流れを背景に高水準となった去年を上回った一方、労働者の多くを占める中小規模事業所での賃上げが浸透していない状況で、価格転嫁の流れはまだ不十分であり、継続した取り組みが必要である」と指摘し、適切な価格転嫁や働き方改革の重要性などを訴えた。

その後、馳浩石川県知事をはじめ、村山卓金沢市長など来賓からのあいさつがあり、最後に参加者全員で、能登半島地震からの復興や平和な社会の実現に向けたメーデー宣言を採択し、ガンバロウ三唱で締めくくった。

また、会場には能登半島地震の復興支援として、輪島朝市や道の駅「すず塩田村」の出張ブースが設けられ、会場に賑わいを見せていた。

「海員だより」